

2003年度 事業計画書

特定非営利活動法人 アジア日本相互交流センター

1 事業実施の方針

アジアで社会的に弱い立場の人々、特に、経済的に貧しく、最低限の生活を維持するための収入を得られない人々や、就学の機会が与えられない子供たちに対して、生活向上、教育、福祉、医療に関する支援活動を行い、これらの人々の自立支援を進めるとともに、アジアの人達との相互理解を促進するために、今年以下に以下の点に留意して事業活動を展開する。

- ・フィリピンで社会的に弱い立場の人々の自立および生命の維持に役立つ支援活動を行う。
- ・フィリピンおよびアジアで厳しい生活環境にある人たちの実状、児童労働、貧困などの課題について、日本の人々と共有し、同じ時代を生きる者として具体的な行動を起こすきっかけとする。

2 事務局の運営

(1) 日本事務局

実施内容 経済的に厳しい生活環境にあるフィリピンの人たちや子ども達の自立支援と課題の共有のため、国内外のプロジェクト全般に関する活動を行う。国内外の事業に関する書類・領収書のまとめ、助成金関連事務作業、会報の編集・発送、会員・一般の方からの問合せ対応などの事務局一般の業務を行う他、学生の訪問受入れや学校訪問、各種イベントなどの国際理解教育事業、フェアトレード事業等を行い、これらの活動を通して法人の活動の充実・発展を図る。

実施予定場所 日本事務所 (NPO プラザなごや)、他

実施形態 事務局スタッフ、理事、事務局ボランティア、フェアトレードボランティア、翻訳ボランティア、イベントボランティアが協力して実施

従業者の予定人数 有給スタッフ2名、理事4名、無給ボランティア50名程度

管理費の内訳 (通信費&事務費)

通信費	スタディツア	3万円	資料送付3万円
	フェアトレード	5万円	資料送付0.5万円、商品発送4.5万円
	それ以外	42万円	インターネット10万円、郵送費26万円、電話代6万円
事務費	スタディツア	5.2万円	資料代1.2万円、カメラ等4万円
	フェアトレード	7.5万円	資料代1.5万円、カタログ作成6万円
	それ以外	24万円	印刷製本費(会報、報告書)15万円、消耗品購入等9万円

(2) マニラ事務局

実施内容 パヤタス・サンイシロプロジェクト全般に関することを行う。プロジェクトの経理や報告・領収書の整理、フェアトレード活動、問い合わせへの対応など現地活動の充実・発展を図る。また、事務の迅速化や現地コーディネートの向上のため、現地へ赴任するボランティアを受入れる。

実施予定場所 フィリピン共和国、ケソン市の事務所

実施形態 マニラ事務局スタッフ、マニラ事務局ボランティアが協力して実施

従業者予定人数 有給スタッフ2名、無償ボランティア10名

管理費の内訳 (通信費&事務費)

通信費	フェアトレード	15万円	商品発送15万円 (6万PHP×2.5円/PHP)
	それ以外	4万円	インターネット1万円、郵送費2万円、電話代1万円
事務費	フェアトレード	1.5万円	資料作成1.5万円
	それ以外	6.5万円	資料作成2万円、消耗品購入2万円、プリンタ購入2.5万円

3 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

ミンダナオにおける支援活動

ミンダナオ島の南部にあるジェネラルサントス市は人口 32 万人程の地方都市で、イスラム系武装勢力の影響を受ける地区にあり、約半数が貧困層だと言われている。一般に子沢山で、子どもが働くことで何とか生計を維持しているが、子ども達が十分な教育を受けないまま成人し、次の世代は更に貧困になるという悪循環にある。

同市において、貧困や民族を理由に社会から阻害されている家庭の子ども達を対象に、正当な教育を受けられるよう、里親(通学)支援と給食支援の二つの支援事業を行う。

1) 里親事業(通学支援事業)

事業内容

日本の支援者に精神的な里親として参加して貰い、貧困家庭の子どもが学校に通えるように、学費、学用品、通学用衣類等の通学支援を行う。子どもの家族に対しても、衛生や栄養改善を目的とする生活指導を行う他、希望者には社会福祉・開発省(DSWD)が実施する職業訓練プログラムに参加を促す。また、準備が整えば、子どもの家族等の収入向上を図る自立支援プログラムを試行する。

実施予定日時 通年

実施予定場所 フィリピン国南コタバト州ジェネラルサントス市およびその周辺

実施形態 現地福祉法人 Love and Life Inc.(以下、L&L)に事業委託して実施。

従業者の予定人数 無償ボランティア 5 名。L&L スタッフ 5 名。

受益対象者の範囲及び予定人数 貧困家庭の子ども 150 名とその家族。

収入見込み額

里親会費(事業費分) 2,160,000 円 (¥18,000 × 150 名 × 80%)

支出見込み額

L&L への委託費 2,070,000 円

「L&L への委託費の内訳

子ども達への支援(学費・学用品・制服代等(150 名 × 2700PHP), 重点支援(3 万 PHP))

1,087,500 円 (43.5 万 PHP) × 2.5 円/ PHP

医療費 112,500 円 (4.5 万 PHP) × 2.5 円/ PHP

生活指導ミーティング 90,000 円 (3.6 万 PHP) × 2.5 円/ PHP

L & L 人件費(含、研修費、社会保険) 540,000 円 (21.6 万 PHP) × 2.5 円/ PHP

L & L 運営費(含、職業訓練、生活指導) 240,000 円 (9.6 万 PHP) × 2.5 円/ PHP」

自立支援プログラム準備費 200,000 円 (ボランティア滞在費、プログラム試行費用)

支出合計(見込み額) 2,270,000 円

2) 給食事業

事業内容

現地の小学校で、栄養状態のよくない子ども達に栄養価の高い給食を提供し、栄養状態や健康面の改善を図ると共に、就学の意欲を高め、就学率の向上にも役立てる。また、現地との調整を円滑に進めるため、適任者が見つければ、現地にボランティア調整員を配置する。

実施予定日時 通年(週 1 回の実施)

実施予定場所 フィリピン国南コタバト州ジェネラルサントス市内の 5 校

(1) P. Kindat Elementary School (以下、PKES)

- (2) Sarif Mucsin Elementary School(以下、SMES)
- (3) Bawing Elementary School(以下、BES)
- (4) Upper Tumbler Elementary School(以下、UTES)
- (5) Dadiangas East Elementary School(以下、DEES)

実施形態 各小学校に事業委託して実施。校長を始め教師が、児童およびその親と協力して、調理、給仕、事業管理を行う。

従業者の予定人数 各校とも、教師 10 名程、及び無償ボランティア数名。

受益対象者の範囲及び予定人数

フィリピンの公的機関評価基準により、子供たちの健康状態を体重・身長で、「Severe(重度)」、「Moderate(中度)」、「Mild(軽度)」、「Normal(正常)」の4段階評価し、この内、重度と中度を給食受益対象者とする。

各校の予定人数は、(1) PKES 50 名、(2)SMES 120 名、(3)BES 100 名、(4)UTES 100 名、(5)DEES 50 名

収入見込み額

給食会費（事業費分） 1 6 8 , 0 0 0 円 (¥6,000 × 35 名 × 80%)

給食寄付金（事業費分） 2 4 0 , 0 0 0 円 (¥300,000 × 80%)

収入合計（見込み額） 4 0 8 , 0 0 0 円

支出見込み額

事業委託費 4 0 0 , 0 0 0 円

「各校への事業委託費の内訳（食料費、光熱費、報告代）」

PKES 49,500 円 (7x 50x40 + 100x40 + 600x3) PHP × 2.5 円/ PHP

SMES 98,500 円 (7x120x40 + 100x40 + 600x3) PHP × 2.5 円/ PHP

BES 84,500 円 (7x100x40 + 100x40 + 600x3) PHP × 2.5 円/ PHP

UTES 84,500 円 (7x100x40 + 100x40 + 600x3) PHP × 2.5 円/ PHP

BES 49,500 円 (7x 50x40 + 100x40 + 600x3) PHP × 2.5 円/ PHP

予備費 33,500 円

ボランティア滞在費補助 1 0 0 , 0 0 0 円

支出合計（見込み額） 5 0 0 , 0 0 0 円

パヤタスごみ処分場周辺での支援活動

巨大なごみ山に隣接した居住区「ルパン パガゴ」では、高くそびえるごみ山からの自然発火による煙や有害ガスが立ち込め、周辺の小川にはどす黒い汚れた水が流れ込んでおり、住民に呼吸器系や消化器系の疾病が多い。また、同居住区にはゴミを拾って生活する人々が約2千人暮らしている。これらの人々は、安定した職業につくことが難しく、やむをえず、ごみを拾っている人が多い。

この居住区でも、もっともごみ山に近く環境の悪い第2地区(Phase 2)で、周辺住民を対象に、医療・栄養面を改善する医療支援事業と、ごみ拾いから脱却するための技術を身につける職業訓練事業、訓練で得た技術を収入につなげるフェアトレード支援事業を行う。

3) 医療支援事業

事業内容

パヤタスごみ処分場周辺で経済的に貧しい地域住民の健康を高めるために、以下の活動を行う。

無料診察：週1～2回、毎回一名の医師による診察

栄養プログラム：栄養不良度が軽度から重度までの生後6ヶ月から3歳未満の子供を対象に給食の提供と、母親を対象にした栄養や健康についてのセミナーの開催。

住民薬局：SALT 所属の住民調整員による薬の販売。(～6月末(SALT との契約解消時))

ケアセンターの開設：SALT との契約解消に伴い、コミュニティケアセンター(CCC)を新しく開設する。

ヘルスワーカーの育成：住民の中から候補者を募り、CCCと地域住民をつなぎ、地域医療の一端を担う

コミュニティヘルスワーカー(CHW)やジュニアヘルスワーカー(JHW)を養成する。

感染症予防支援：CCCに看護師などの医療スタッフが平日常駐させ、CHWが栄養不良児のいる家庭や病院へアクセスできない病人のいる家庭の訪問などを行い、医療機関や各種サービスへのアクセスを高めるように支援する。また、衛生に関する指導、予防接種等も行う。

実施予定日時 通年

実施予定場所 ケソン市パヤタス地区ルパンパガゴ第2地区

実施形態 6月まではSALT との共同事業、7月以降は当法人の単独事業として実施。

従業者の予定人数

医師1名、看護師1名、CHWおよびJHW数名、現地スタッフ2名

受益対象者の範囲及び人数

ケソン市パヤタス第2地区の住民およそ800世帯(人口約4000人)

収入見込み額

医療会費(事業費分) 120,000円 (¥6000×25名×80%)

医療寄付金(事業費分) 240,000円 (¥300,000×80%)

収入合計(見込み額) 360,000円

*JICA への提案事業が通れば、170万円の収入が見込める。

支出見込み額

無料診療 195,000円(1000PHP×78回分=7.8万PHP)×2.5円/PHP

栄養改善 210,000円(7000PHP×12ヶ月=8.4万PHP)×2.5円/PHP

住民薬局 142,500円

住民調整員 135,000円(9000PHP×6ヶ月=5.4万PHP)×2.5円/PHP

賃貸料 7,500円(0.3万PHP)×2.5円/PHP

ケアセンター 267,500円

改装費 160,000円(6.4万PHP)×2.5円/PHP

備品購入* 62,500円(2.5万PHP)×2.5円/PHP

賃貸料 45,000円(3000PHP×6ヶ月=1.8万PHP)×2.5円/PHP

ヘルスワーカー 267,500円

訓練育成費 200,000円(8.0万PHP)

謝礼金 67,500円(2.7万PHP)

感染症予防 788,000円(JICA への提案事業)

看護師人件費 175,000円(10000PHP×7ヶ月=7万PHP)

医薬品 385,000円(15.4万PHP)

食料費補助 78,000円(50PHP×260回分=3.12万PHP)

冷蔵庫 25,000円(1万PHP)

顕微鏡 125,000円(5万PHP)

フィリピン人スタッフ人件費(含SSS)×50%

260,000円(8000PHP×13ヶ月=10.4万PHP)×2.5円/PHP

その他 19,500円

支出合計(見込み額) 2,150,000円

4) 職業訓練事業

事業内容

パヤタスごみ処分場周辺の経済的に貧しい地域住民を対象に、危険なごみ捨て場で働かなくても、経済的に自立できるように、必要な技術を身につけるための職業訓練を行う。

実施予定日時 週2回、50週を予定

実施予定場所 フィリピン共和国マニラ首都圏ケソン市パヤタス地区ルパンパガゴ第2地区

実施形態 既に訓練を受けた技能修得者が、現地スタッフとともに、ニーズの高い実用的な課題について、ワークショップを行い、技術指導する。

従業者の予定人数 無償ボランティア5名、現地スタッフ2名、既に訓練を受けた技能修得者3名。

受益対象者の範囲及び予定人数 パヤタスに住む女性40名とその家族。

特に、高校中退の女子、シングルマザー、スカベンジャーの女性、貧困家庭の女性を優先する。

収入見込み額

職業訓練会費(事業費分) 96,000円(¥6,000×20名×0.8)

職業訓練寄付金(事業費分) 80,000円(¥100,000×0.8)

収入合計(見込み額) 144,500円

支出見込み額

職業訓練 57,600円

指導員 43,200円(1500PHP×12ヶ月=18,000PHP)×2.5円/PHP

教材費 14,400円(500PHP×12ヶ月=6,000PHP)×2.5円/PHP

作業所借上(1/3) 28,800円(1000PHP×12ヶ月=12,000PHP)×2.5円/PHP

託児所 72,000円

備品購入 28,800円(12,000PHP)×2.5円/PHP

保育係 43,200円(1500PHP×12ヶ月=18,000PHP)×2.5円/PHP

機器購入費等 141,600円

支出合計(見込み額) 300,000円

5) フェアトレード支援事業

事業内容

自立のための作業所で製作した販売品を、マニラや日本において、バザー、通信販売、委託販売を通し販売をする。マニラでの販売にはパヤタスの女性達も参加し、販売技術を学んだり、販売に耐えうる製品作りに必要な情報を得る。この売上げは、女性達に現金収入として還元されるとともに、作業所の運営費などになる。また、他のNGO団体が製作した支援のための販売品を購入し、上記の方法により販売する。これにより、作業所の女性達の経済的な自立を支援する。

実施予定日時 通年

実施予定場所 パヤタスの作業所、マニラおよび日本のイベントや学園祭でのバザー、インターネットによる通信販売、店舗等への委託販売等。

実施形態 当法人の主催事業。

従業者の予定人数 現地スタッフ2名、無償ボランティア10名、作業所の女性達15名。

収入見込み額

売上金(日本) 1,600,000円

売上金(他団体への直送分) 400,000円(160000PHP×2.5円/PHP)

売上金(マニラ分) 1,250,000円(500000PHP×2.5円/PHP)

収入合計(見込み額) 3,250,000円

支出見込み額

製作者への労賃	1,000,000円 (400000PHP × 2.5 円/PHP)
材料費	650,000円 (260000PHP × 2.5 円/PHP)
作業所賃借料および光熱費	60,000円
雑費 (含、梱包)	150,000円 (60000PHP × 2.5 円/PHP)
フィリピン人スタッフ人件費 (含 SSS) × 40%	210,000円 (6400PHP × 13 ヶ月 + 800PHP = 8.4 万 PHP × 2.5 円/PHP)
日本での事業費	50,000円
支出合計 (見込み額)	2,120,000円

この他、管理費 (人件費、交通費、商品送付代等) として、1,282,000円が必要。

山村サンイシロでの支援活動

リザール州アンティポロ市の北 30km にあるサンイシロは、ドゥマガット族などの先住民が多数住む山村部の農村である。開発から取り残されたこの村では、電気も水もなく、医療も不足している。また、識字率の低さや教育が不十分であるため、住民の多くは強い劣等感を感じている。主な収入は農業で得ているが、収穫期直前には食料が底を付くことが多く、現金収入の確保のためしばしば山で木の不当伐採が行われる。先住民が誇りを持って生きられるように、山村教育支援を行っている。

5) 山村教育支援事業

事業内容

開発から取り残された少数民族が多数住む山村サンイシロで、教育水準や生活水準向上を支援するために、

- 住民組織 MASAKA が運営するプレスクール (幼稚園) の運営を支援する。
- 先住民の子どもが小学校やハイスクールに通学できるよう奨学金を提供する。
- 果樹やマホガニーなどの樹木を家庭単位で植樹する。
- 収穫期直前に食料が不足するなどの地域の課題とその解決法について、調査、模索する。

実施予定日時 通年

実施予定場所 フィリピン共和国リザール州アンティポロ市サンイシロ地区

実施形態 住民組織 MASAKA * を通じて支援する。

* MASAKA はサンイシロ周辺に住む少数民族ドゥマガット族を主体とした住民組織、1998 年に活動開始。90 世帯が加盟。1999 年より当法人と定期的な会合を持つ。

従業者の予定人数 無償ボランティア 5 名。現地スタッフ 1 名、MASAKA のスタッフ 5 名。
プレスクール教師 1 ~ 2 名。

受益対象者の範囲及び予定人数 サンイシロ周辺に住むドゥマガット族を中心に 170 家族。

収入見込み額

山村教育会費 (事業費分) 120,000円 (¥6000 × 25 名 × 0.8)

山村教育事業寄付金 120,000円 (¥150,000 × 0.8)

収入合計 (見込み額) 240,000円

支出見込み額

奨学金 100,000円 (40,000PHP × 2.5 円/PHP)

プレスクール 110,000円 ((4,400PHP × 10 ヶ月) × 2.5 円/PHP)

果樹木植樹 15,000円 (600PHP × 10 家族 × 2.5 円/PHP)

予備費 15,000円

支出合計 (見込み額) 240,000円

相互理解を促進する活動

6) 国際理解教育事業

事業内容

フィリピンやアジアで厳しい生活環境にある人々の生活、児童労働の実情等について多くの人と共有し、市民の国際協力に対する理解を深めるために、日本の小中高校生や一般市民、団体を対象に、以下の活動を行う。

- a. 教育者や親子を対象とした国際理解教育講座の開催
- b. 講演・ワークショップの開催（学校数校、国際協力イベント等）
- c. 国際理解教育を扱った授業の実例集の発行
- d. 事務局への訪問者受入れ(平均10名程度/月)
- e. 教材貸出し（児童労働ビデオ、写真展用写真、オリジナル教材等）
- f. 現地の子ども達へのカードの送付
- g. フィリピンの厳しい生活環境にある人々への生活物資の送付、提供

実施予定日時 通年。

実施予定場所 名古屋国際センター、NPO プラザなごや、東海地区の学校数校等。

実施形態 当法人の主催事業。名古屋国際センターおよび名古屋NGOセンター等の後援を得て実施する。

従業者の予定人数 事務局スタッフ2名、現地スタッフ2名、無償ボランティア10名。

受益対象者の範囲及び予定人数

会員および一般市民 200名。日本、およびフィリピンの生徒 各1000名程度

収入見込み額

学校訪問謝礼金 150,000円

国内研修等参加費 100,000円

収入合計（見込み額） 250,000円

（この他、助成金と寄付金で、124万円の収入を見込む。）

支出見込み額

学校訪問関連支出 100,000円（通信費、印刷代、交通費等）

国内研修等開催費用 800,000円

機材購入費 150,000円

カード送付 40,000円

物資輸送 160,000円

予備費 150,000円

支出合計（見込み額） 1,400,000円

7) スタディツアー事業

事業内容 フィリピンで行われている支援事業や生活困窮者の人たちの現状を視察し、現地住民と参加者との交流を図るとともに、参加者の国際理解を増進する。

実施予定日時 年4回を予定。

実施予定場所 メトロマニラ首都圏、リサ-ル州、南コタバト州（ジェネラルサントス市を含）

実施形態 当法人が企画、旅行代理店に委託して実施する。

従業者の予定人数 事務局スタッフ2名、現地スタッフ2名、無償ボランティア5名。

受益対象者の範囲及び予定人数 会員および一般市民 25名。

収入見込み額

ツアー参加費 1,500,000円（6万円×25名）

支出見込み額	
スタッフ渡航費	150,000円
ツアー時の交通費	125,000円(5万PHP×2.5円/PHP)
ツアー時の食費	200,000円(8万PHP×2.5円/PHP)
ツアー時の宿泊費等	125,000円(5万PHP×2.5円/PHP)
ボランティアさんへの謝礼金	50,000円(2万PHP×2.5円/PHP)
フィリピン人スタッフ人件費(含SSS)×10%	
	52,000円(1600PHP×13ヶ月=2.08万PHP×2.5円/PHP)
支出合計(見込み額)	702,000円
この他、管理費(人件費、交通費、租税公課等)として、762,000円が必要。	

(2) 収益事業

1) リサイクルバザー事業

事業内容 会員や一般市民から提供された不要品をフリーマーケット等で販売する。

実施予定日時 年に2回。

実施予定場所 フリーマーケットおよび東輪寺など、名古屋市内およびその周辺。

実施形態 ボランティアや会場提供者の協力を得て、実施。

従業者の予定人数 無償ボランティア10名。

収入見込み額

物品販売売上げ 200,000円

収入合計(見込み額) 200,000円

支出見込み額

フリーマーケット会場費 20,000円

支出合計(見込み額) 20,000円

この他、管理費(通信費、事務費)として、4,000円が必要。